

PHILIPS

Philips Clinical Education eラーニングプログラムのご案内 for Image Guided Therapy



いつでも どこでも フレキシブルな学びを Flexible learning anytime, anywhere

医療従事者は、その専門分野の最新知識を常に学習することが重要です。多忙なスケジュールの中で学習時間を確保することは難しいかもしれません。Philips Learning Center (PLC) は、デジタルトランスフォーメーションによる新たな学習方法を提案します。継続的な教育プログラムをいつでも、どこでも学習できるようスマートフォン、タブレット、パソコンから簡単にアクセスすることができます。

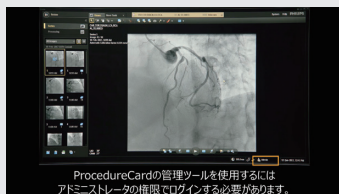
Philips Clinical Education eラーニングプログラム

インターベンションの需要は、デバイスの進化と低侵襲手術の普及とともに増加傾向にあります。eラーニングプログラムは進化するインターベンションに関する教材を継続的にアップデートします。

心臓領域のeラーニングプログラム

フィリップスの血管撮影装置は、心臓領域のさまざまな手技や治療に使用されています。心臓領域のプログラムは、以下の3つのコース、33以上のコンテンツで構成されています。PCI、SHDなどの高度なワークフローを動画やさまざまな教材で解説しています。それぞれの疾患のあらゆる段階でフィリップスのインターベンション用ツールを効率的かつ効果的に使用するためのガイダンスが提供されています。

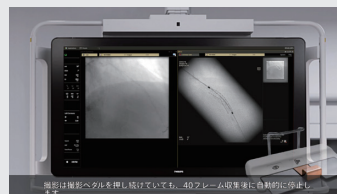
Azurionシステム基本コース



Azurionシステムの機能と特長を詳しく説明し、日常の診療から複雑な手技まで適切に実施できるようになります。

本コースは「eラーニング」や「How Do I ビデオ」で構成され、ご自身の理解度にあわせて学習を進めることができます。

冠動脈疾患コース



PCI中に使用するDynamic Coronary RoadmapやStentBoost Liveなどのツールを適切なタイミングで使用できるようになります。

「How Do I ビデオ」により実際の臨床画像を用いたわかりやすい動画で操作方法や検査の流れなどを学習します。

構造的な心疾患コース：SHD



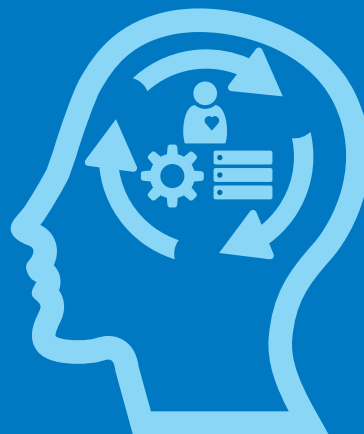
HeartNavigator、EchoNavigatorの基本操作に加え、TAVIなどのSHD手技を学習することができます。

「ビデオチュートリアル」は操作デモとシミュレーションで構成されたコンテンツで、実機がなくても短い動画の後に操作演習が行えます。



「eラーニング」により僧帽弁クリップ術の基礎、ワークフローを学習、効率的なツールの使用方法をサポートします。

「プロシージャガイド」により左心耳閉鎖術などの新しいインターベンション手技もサポートします。



Interested in learning more?

脳神経領域のプログラムは、以下の4つのコース、42のコンテンツで構成されています。脳動脈瘤、血行再建術の治療では新しい手技やデバイスが広く使われるようになり、こうした流動期に視認性の低いデバイスを描出することが新しい課題となっています。インターベンションの術前、術中、術後のワークフローで治療方針の決定、デバイス留置に適した2D、3Dイメージングがインターベンションの成功率を予測し、治療の確度が向上します。

A surgeon in blue scrubs and a surgical cap is shown from the side, looking at a tablet computer. The tablet displays a 3D medical model of a patient's anatomy, likely a brain or skull, with various anatomical structures highlighted. The surgeon's hands are visible, holding a surgical instrument. The background is a blurred operating room environment.

ロードマップなどの臨床ワークフローは、実際の使用状況を「How do I ビデオ」で紹介しています。

[illegible]

「ビデオチュートリアル」はSmartCTの操作デモとシミュレーションで構成されたコンテンツで、実機がなくても短い動画の後に操作演習が行えます。

「プロシージャガイド」によりAneurysmFlowを使用したフ
ローダイバータ留置手技をサポートします。

例

高圧ガスを利用して圧を測定して2次元

VasoCTIによる手技中 デバイス確認

フロー・デバイスとシステム管理後にシステム管理と患者との位置を確認する目的のVasoCTIを使用。

連続的 フロー・デバイス・データがシステム管理されています。

近接性 フロー・デバイス・データが提供されています。

「プロシージャガイド」によりVasoCTを使用した頭部領域のデバイスおよび血管の描出をサポートします。



製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー15階

お客様窓口 0120-556-494

03-4334-7637

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2025 Koninklijke Philips N.V.

販売名：血管造影X線診断装置 Azurion

医療機器認証番号：228ACBZX00012000

設置管理医療機器／特定保守管理医療機器
管理医療機器



本プログラムについては、こちらの二次元コードからお問い合わせください。

2558184
0625PDF02-TP Printed in Japan